

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和4年度 第5回麻溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話042-778-2381(直通)		
開催日時		令和5年1月27日(金)		
開催場所		麻溝公民館 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	3人(麻溝まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>1 あいさつ</p> <p>2 民生委員・児童委員の一斉改選に伴う副会長の交代について (報告)</p> <p>3 議題 (1)南市民ホールの廃止について(行政説明:文化振興課) (2)麻溝地区防災計画修正素案について (3)次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について</p> <p>4 情報交換 地域に関する課題や地域向けのイベント等について</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(は会長の発言、 は委員の発言、 は文化振興課の発言)

1 あいさつ

会議開催にあたり、麻溝地区まちづくり会議中島会長からあいさつした。

2 民生委員・児童委員の一斉改選に伴う副会長の交代について(報告)

事務局より令和4年12月1日付にて副会長を交代したことについて報告後、着任した栗山副会長からあいさつした。

3 議題

(1)南市民ホールの廃止について(行政説明:文化振興課)

文化振興課長から、南市民ホールの廃止案について説明を行った。

<南市民ホールの廃止案に係る説明概要>

- ・本市は令和3年4月に行財政構造改革プランを策定した。このプランは今後少子高齢化が見込まれている中で税収等が少なくなっていくことに加え、建物(公共施設)の老朽化が進行し、高齢化が進むと医療費などの扶助費が増大して行くため、独自政策のみならず、真に必要な行政サービスの提供が維持できない状況が想定されることから策定したもの。
- ・策定当時は、令和9年度までに816億円の赤字になる試算となっている。
- ・昭和40～50年代の人口急増期に整備した公共施設の老朽化が進行している。
- ・改修費も年々増加傾向にあり、全ての施設を現状のまま維持し続けることは困難な状況。
- ・本プランで見直しの対象となった公共施設には南市民ホールのほか、銀河アリーナ、市体育館、図書館相武台分館などもあり、廃止だけでなく、集約化の考えも含まれている。
- ・南市民ホールは集約化という手法により、ホール部分の改修・更新は行わずに、類似機能を持つ南区の施設への集約化を検討することとしている。
- ・南市民ホールが集約化の対象となった理由は、改修費が6億円以上の見込となること、運営コスト比率(運営費に対する利用料収入の割合)が低いこと、利用率が約60%と他施設と比べ低いこと(平成30年度実績)、近隣のグリーンホールの多目的ホールが代替施設となり得ること。
- ・現在、多目的ホールがバリアフリー対応でないため代替施設にならないとのご意見が寄せられており、今後の改修を検討しているところ。
- ・文化振興課としては、皆様の文化活動をお伝えし活動の継続を支援する立場であり、SNSを活用した活動の発信や新たな発表の場の設定などに引き続き取り組んでいきたい。

<主な意見・質疑等>

パブリックコメントで南市民ホールの存続はたくさんの方が希望していると聞いている。廃止後は多目的ホールを代替えとするのであれば、その機能も考えておられるかどうか。

また、私は地元で演劇が見られることを理由に相模原演劇鑑賞会に入会している。私たちはこの会に会費を支払って利用しており、今まで沢山の著名人が来ていて、今も楽しい所だから、そこを使えませんかと言われても、わかりましたと納得するような感じではない。

他の団体からも同様のご要望、ご質問をいただいているが、全く同等の別のホールを立てることは現段階では困難な状況。多目的ホールの改修による代替利用するか、市内の他施設（市民会館・杜のホールなど）を利用いただきたい。近くで観劇できる今の環境からはご不便をお掛けするが、市全体の施設の維持管理をどう考えていくかについて、皆様にもお考えいただく必要があると思っている。

南市民ホールを廃止して何も無くなるのか、または同じ場所に違うものができるのか。

今はまだ決まっていない。南市民ホールは南区役所と併設であり、区役所も同様に改修が必要となっている。南合同庁舎には区民課以外の関係各課もあり、窓口の混雑状況から現状では広さが不足しており、南合同庁舎の在り方も今後検討する必要性が生じている。新たなホールというのは困難だが、南市民ホールの現在の利用内容によっては、公民館の大会議室を拡充する、講習室を増やすなどにより、代替利用が可能なケースも想定している。南市民ホール部分の今後については、スケジュールは未定であるも、地域の皆さまのご意見を伺う機会はあると思う。

私は言いくるめられていると感じた。南市民ホールが廃止になってどこに集約するのか。

一番近いところであればグリーンホールの多目的ホール。市内全域では市民会館、あじさい会館、もみじホールなど。不便をかける点はあるかと思うが、市内の他の施設を利用いただければと考えている。

それもおかしい。南区の市民はそこに行かない。集約化という言葉がおかしくて、これは廃止の話だ。次第には廃止と書いてあるのに、文化振興課の資料には集約化（廃止）とある。集約化ではなく廃止だ。集約化という言葉で、うまくみんなを説得させてしようとしているけれど、ただ単になくなってしまおうという話。個人的な意見だが、南区の市民が緑区まで行かない。行財政は確かに必要だし、今後コストがかかることもわかるが、市民にとっては文化の発信など芸術活動で凄いという体験をすることは大事と思う。担当の課長だからよくご存知だと思うが、それをカットしてしまうから、各団体から存続を求めていると思う。年間でいくらコストカットできるのか。

イニシャルコストとしては6億円、年間だと約4千万円。その後4千万円が継続する見込み。人口72万で南区に28万いるのに、年間4千万円ぐらいのランニングコストが出せないというのは解せないと思う。説明の中で利用率が低いとあったが、資料を見ると令和3年度の利用率は低くない。グリーンホール大ホールとリハーサル室に次いで三番目に高くなっている。それほど低くないのに、一番廃止しやすいから槍玉に挙げられたのかなという気がする。文化芸術の発信拠点を今後検討するという話だったが、廃止する前にどこにその代替施設や環境を作るのかということを考えてほしいと思う。

おっしゃる通りであり、実際は廃止の案ということで話をさせていただく。当初、令和3年の

行財政構造改革プランの中では集約化という非常に分かりにくいものだった。今の意見については真摯に受け止めて、今後留意する。

廃止の理由に修繕費とあるが、市民会館の方が古いのになぜか、老朽化部分であれば、市民会館の方がもっとかかるのではと思うが、どうなのか。

市民会館は一度大規模改修を行っており、今後の改修費用はそれほど多くかからない状況のため見直し対象から除外されている。中央区は市民会館、緑区には杜のホール、南区にはグリーンホールと各区にある基幹的なホールは見直し対象外としたもの。総括的に検討した結果、南市民ホールが対象となったもの。

先日も自治会長会議で同じ話を伺った。文化振興の担当課として、財政や利用率の説明があったが、基本的なところの文化振興に関して、今回南市民ホールがなくなることによるダメージがあるという認識があるのか。あると分かっていたら結構。では文化振興についての長期プランは、検討する場はあるのか。

文化芸術振興プランという計画があり、審議会に諮り長期的な事業計画を策定している。少子高齢化が進み財政状況が悪くなるというのは当然分かる。説明からは、生活に関する費用や多くの公共施設の維持管理は必要だが、文化に関しては随分位置付けが低いイメージに聞こえた。文化振興の課長としては辛いと思うが、今回はこういう状況だが、本来文化振興は必要なものだという意識で、長期計画のことを含めて私達に説明していただきたかった。

文化振興の課長として皆様の活動を支えていくというのが一番の考えであり、失礼な説明をしていると感じているので、今後そのような意識を持ちながら、皆さまにも説明をさせていただきたい。

私は11月16日の説明会に参加したが、老朽化に伴って耐震設備でなくなっている部分の説明が今回はなかった。先日聞いたのは、震度6強の地震が来ると、まず間違いなく天井が落下するという話だった。そのための改修は予算がないため行わないが、安全のために閉鎖をして市民を守るという説明を受けた。それが一番、大きなことだと思っている。しかし、現時点も実際に使われており、明日地震が起きるかもしれないという事実がある。今日明日に地震が起きたときに何人かの死者が出たとしたら誰が責任を取るのか。そういうところで考えているのか。緊急性から言うと、市内では都市開発がどんどん進められている。文化振興課という立場は弱いかもしれないけれど、人の命をどう見るかということをもう一度考えてほしい。よろしくお願いします。

限られた時間で詳細な説明ができないところがあったので、今日だけに限らず、個人でも、団体でも希望がある場合は説明に伺わせていただきたい。

<大野南地区自治会連合会から署名活動の依頼について>

文化振興課の退室後、中島会長から、署名活動依頼の経過及び麻溝地区自治会長会議における対応について説明を行った。

南市民ホールの廃止は、地元大野南では大きな問題になっている。ご存知の方もいるかと

思うが地区を上げて存続を求める署名活動を行っており、大野南地区自治会連合会から署名活動への協力依頼が届いている。今月の自治会長会でも文化振興課から説明を受けた後、この署名についても協議をしたが、意見が一つにまとまらなかったため、各自治会の判断に任せることとし、麻溝地区自治連として対応することは今回見送った。こちらの会議の方がむしろ利用される関係の人たちが多いと思うので、今日この資料を配布した。各団体が署名活動に取り組まれる場合は、まちづくりセンターの団体事務局に提出いただき、まとめて大野南地区に送る対応が可能だが、このことについてご意見を伺いたい。

今、複数の方からも話があったとおり、私はとても大事な場所だと思っている。廃止の方向となっていることを、麻溝地区の人がご存知かどうか分からないなか、対応しない自治会については、この現状を知ってもらい自分でどう判断するか、賛同される方が署名してもらえなくなる。ぜひ各自治会で回覧して、現状を伝え皆さんどう考えますか?という形で対応してほしいと個人的には思っている。よろしくお願いします。

利用されている立場の方にとっては非常に思いが強いことと思います。先ほど申し上げたように、今月の自治会長会議の中では、地区としてまとまったの対応はしないと決まったので難しいと考えている。例えばこの会議の各団体の中で取り組んでみたい、取り組んだほうが良いという考えがあれば、この署名の依頼を受けて対応いただき、それを地区でまとめることはできると思っている。

自治会長の皆さんの判断で決めたということだが、やはりそこでストップするのではなくて、回覧して皆の意見を聞くという形をとってほしい。自分としては納得できない。

自治会長会議では地区としての対応はしない方向となったが、ここの会議に参加している各団体で動けばいいと思う。支障なく問題なくできると思う。

地区をあげて署名活動に協力していくということであれば、もう一度、自治会長会議に諮ることは出来る。

ぜひ回覧してほしい。南市民ホールがどうなるかが分からない人が結構いると思う。回覧を見て判断する場を取って欲しくなかったと思う。

では、もう一度自治会長会議に諮って署名活動について回覧して欲しいという方は挙手をお願いしたい。

挙手 6名

挙手された方のほうが少ないので今回は各団体で対応いただくということでよいか。協力を希望する団体は、署名の用紙を使ってまちづくりセンターの団体事務局に提出いただければ大野南地区に送る対応とする。よろしくお願いします。

(2) 麻溝地区防災計画修正素案について

伊藤副会長から、地区防災計画検討委員会における計画修正素案の検討経過の説明を行った後、事前に寄せられた質問・意見に対して中島会長から回答した。

<検討経過の説明概要> (伊藤副会長)

- ・検討会議は令和4年度に全部で6回実施した。
- ・地区防災計画は、法（災害基本法）に基づき国・県・市がそれぞれ策定した防災計画の中の地区防災計画という位置付けとなっていて、法改正や社会情勢の変化に対応するほか、麻溝の地域特性を加味して検討してきた。
- ・当麻地区は浸水想定区域に入っているが、今までの計画は大規模地震がメインで、風水害時の対応が曖昧となっていた。
- ・検討にあたっては実効性のある計画となるよう、実際の災害時に誰が、何を、どれだけ、どのようにするかということ、災害の場面に合わせた動きを反映することとした。
- ・地域の課題として協議したことは、「自助」に関すること、自分の命は自分で守ることが一番初め、自分が助かったら次は「共助」、この共助の中に「災害時要援護者対策」があり、高齢化社会が進んでご自分で避難できない方々をどのように支援していくのか、次に「災害発生時の取組と課題」、そして「平常時の取組」についても訓練の実施や各自の備蓄の必要性などを協議した。

<事前に寄せられた質問・意見に対する回答>（中島会長）

- ・「マイ・タイムラインの作成」と「防災メールの登録」について様式や説明文がほしいとのご意見があった。

計画に全ての防災情報を網羅するというのは難しいため、計画の中に「防災ガイドブック」を活用して情報確認すると記載している。「防災ガイドブック」を市が発行して配っているほか、麻溝地区独自で作った「あさみぞ防災ガイド」にはハザードマップとマイ・タイムラインを掲載し、令和3年度末に自治会加入の全世帯に配布しているので、こういう資料もあわせて見ていただきたい。

- ・修正箇所に記載した番号が何を示しているか分からないという意見があった。

この番号は修正の主な要因を示しており、修正案の目次のページに説明を記載している。

は令和元年東日本台風の教訓、 は地域防災計画（市）の修正、 は災害対策基本法の改正、 は風水害時の対応など地域特性に応じた見直し、 は第2回検討委員会で出された意見としている。

- ・「避難場所におけるコロナ感染対策のための分散避難を考えておく」「前もって自分の自治会はどこに行くのか決めておく」という意見があった。

避難場所は市が決めており、麻溝地区には、避難所は麻溝小学校、夢の丘小学校の2か所が、風水害時には先程の2か所の避難所と麻溝公民館が、そして城山ダムの緊急放流時にはギオンアリーナ（総合体育館）、市民健康文化センターの2ヶ所が、避難場所に指定されている。分散避難については今回の修正にて計画に記載しており、コロナ対策として大切な取組である。親戚や知人宅に避難ができる場合は積極的に対応していただきたい。

自治会ごとに避難場所を決めるというのは、市が指定した避難所として麻溝小学校と夢の丘小学校と決まっているので、原則として指定の避難所になると思う。ただ、現実指定場所に避難出来ない方もおられるので、今後は「自主避難場所」として自治会館などの身近

な場所を避難先とすることも協議し計画に記載している。今後はそういったことも検討する必要があると思っている。受け入れ体制等もよく検討した中で避難先を少しでも増やしていくという考え方で進めていきたい。

・計画の作成だけでなく普段からの訓練が必要との意見があった。

今までの計画は平成27年に作成し、当時は市の主導で作ったため、地域の特性が充分反映されていない側面や、コロナ関係や風水害の避難が盛り込まれていなかったが、今回の修正で盛り込んだので、使える形になっていると思う。今後はこの計画を活用しながら地域の防災計画を進めていきたいと考えているので、よろしく願いたい。

・災害時要援護者支援の取組に関する質問について。

災害時要援護者支援については、市がガイドラインを作り積極的に進めるようにと呼び掛けをしているが、麻溝地区については地区として連携して取り組む形はまだ出来ていないのが現状。平成27年度に市のガイドラインでは実施が難しいので、把握している情報を基に対象者を設定した地区独自のやり方で取り組もうとした経過があり、いくつかの自治会で要支援者を特定し同意書を集めたところもあるようだが、その後の引き継ぎが上手く行かず、現在は地区としてこの取組を進められていない。ただ、非常に大事なことなので地区としても取り組んでいきたいと思っている。

本案件は現在市が個別避難計画の骨子案を検討中のため、今回の修正に盛り込まず見送った経過があり、今後、具体的な内容が示されてから改めて修正の検討を行うこととしたもの。繰り返しとなるが、非常に大事なことなので、他地区の状況を踏まえながら、地区としても早めに計画を修正できるように取り組みをしていきたいと思っているので、ご理解いただければと思う。

1/22日曜日に防災訓練(黄色い旗の掲出訓練)を実施したが、皆さんに結果を周知してほしい。啓発にもなると思う。そういうデータを基に意識を持ってもらう必要があると思う。

まだ最終集計は出ていないが、昨年に比べると掲出率が上がっている。まだ全体としては低いが変わってきているので、更に進めていきたいと思っている。課題としては、大きな自治会では組長さんに動いていただき、それを集計するのが難しくなっている。来年に向けて各自治会の方でも更に掲出率が上がるよう取り組んでいきたいと思う。地域情報紙などにより皆さんに周知させていただく。

この麻溝地区防災計画書は良くできていると思うが、麻溝小学校など避難所の収容人員の記載がないので、一応参考に入れてほしい。以前の計画策定時は検討・確認しているはずなので、ぜひ記載していただけるとありがたい。

他に質問などなければ、この修正案としてよろしいか。

= 一同異議なし =

今後、地域振興課と危機管理課に提出し、内容のチェック後に市の防災会議に諮られて最終決定となる予定。皆さんにお配りするのは新年度になる予定。

(3) 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について

中島会長から、1月14日(土)に開催した見学会について報告した後、3グループに分かれて意見交換を行った。

各グループに見学会参加者を配置し、見学会の内容等について説明を受けてから意見交換を実施。(20分程度)

<見学会の報告概要>(中島会長)

- ・見学会は、まちづくり会議委員と自治会長を対象として計画し、参加者は11名だった。
- ・今の処分場の様子、隣接する次期候補地を見学し、今後どうするかについて考えていただいた。

<意見交換の発表内容>

【第1グループ】(発表者:地域包括支援センター細山管理者)

- ・これまでも最終処分場を引き受けている麻溝地区に、またやってくるというところの感情面で、なかなか受け入れがたいという意見が多く出された。
- ・もし麻溝地区にまたできたとして、どのようなメリット・デメリットがあるのか。
- ・皆さん同じように麻溝地区だけが負担を強いられていることになっていると感じている。
- ・今もごみの持ち込みにお金がかかっている。
- ・相武台地区でも近隣の再開発や施設建設には歓迎の声がある一方で、同じように反対意見が上がっているという情報もあった。
- ・自分たちで出したごみなんで、なんとかしなければならぬということは分かるが、また麻溝地区なのかという感情が皆さんの共通認識であった。

【第2グループ】(発表者:麻溝小学校 PTA 矢萩会長代理 井上さん)

- ・安全性についてどんなに説明されても理解が難しいところがあり、不安は残る。
- ・必要な施設だというのは皆さん同様に理解をしている。
- ・先伸ばしが難しく差し迫った課題であることも皆さん感じている。
- ・便利な立地であることも理解している。
- ・何か代わりに得られるものが地区としてあって良いのではないか。
- ・現処分場の跡地利用は、文化施設(女子美の美術館)など地区に受け入れられるようなものだと良い。

【第3グループ】(発表者:伊藤副会長)

- ・緑区は水源地なので、麻溝一択かもしれないという認識で話が進んだ。
- ・こういう施設はしかたがなく、どこかが引き受けないと私たち自身がごみを出すという行為ができなくなってしまうということ。
- ・将来にわたり安全な施設であることは大前提ではあるが、地域負担の代償として、麻溝地区への補助金や制度への配慮があると理解され易いのではないか。

(中島会長)

私の感想としては、どうしても必要な施設であることは皆様も理解されていると思うが、また

麻溝地区が候補地になるのかという疑問は当然持っている。引き受けるのであれば、何かメリットがなければ引き受けられないというのは当然の感情だと思っている。この問題については、一応計画が15年となっており、15年とはすごく短いので、処分場が決まればすぐに次をどこにするか考えなければならないという状況もある。もしかすると嵩上げ工事をして、さらに15年間伸ばすことが前提ではないかと思っている。本当に15年しかないとすれば、今4つ候補地が出ているが、4つ全部作るしかない。順番がどうなるかは別だが、そういったことを踏まえて考えていかなければならないと思う。今の処分場は窪地で、水が溜まって他に活用できないような土地だったので、そこを埋め立てたいということで登場してきたが、次期候補地については、林や平坦地のため、わざわざ木を切ったり、穴を掘ったりしなければならない土地である。もし麻溝に作るのであれば、地域にメリットがなければ、受け入れることは難しいと思っている。

もう一つは、次期候補地が4か所しかないのだから、ごみの減量に力を入れるべきと考えている。市にもごみの減量を真剣に考えることをしてもらわないといけない。麻溝地区だけでなく、全市を挙げて一緒に取り組んでももらわないと、どこに処分場を作るにしても、受け入れるとは言えないと思う。私は今年度から市の審議会に参加させていただいており、意見を言う機会もあるので、この問題を、聞くだけじゃなく候補地と同じように他地区にも一緒に考えてもらえるように話をして行きたいと思っている。皆さんのご意見もぜひ聞かせていただきたい。

4 情報交換

地域に関する課題や地域向けのイベント等について

《安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部 青パト部会》から

1月22日に実施した地区防災訓練の中で「地区内警戒訓練」として青パトが参加しており、青パトの活動が相当広がってきている。他に機会があればぜひ利用していただきたい。

(中島会長)

青パトは地域からの人気が高まっているので、ぜひ積極的に活用していただきたい。

5 閉会

麻溝公民館 山口館長のあいさつにより閉会した。

以上

麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

	団体名	委員		まちづくり会議での役職	第5回 出欠席
		各団体での役職	氏名		
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長	出席
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕		出席
3	麻溝公民館	館長	山口 誠	副会長	出席
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長	出席
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長	出席
6	麻溝観光協会	副会長	井上 時雄		出席
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見		出席
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次		出席
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市		出席
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義		欠席
11	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄		出席
12	麻溝商工振興会	会長	石原 武		欠席
13	麻溝公民館運営協議会	委員	橋本 正春		出席
14	相模原市スポーツ推進委員	委員	小泉 勉		欠席
15	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆		欠席
16	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	政木 晃		欠席
17	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	湯田 正吉		欠席
18	麻溝小学校PTA	会長	矢萩 直樹		代理出席
19	夢の丘小学校PTA	会長	小林 大介		出席
20	相陽中学校PTA	副会長	岡田 洋子		欠席
21	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克		出席
22	市場地区計画検討委員会	委員	石井 英和		出席
23	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一		欠席
24	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿		出席
25	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎		出席
26	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀		出席
27	県立相模原養護学校	支援連携 グループリーダー	清水 功		出席